

平成19年度 研究課題・事業課題

今年度取り組む研究課題・事業課題を紹介！
この他，市町村，独立行政法人，漁業関係団体，
企業等からの受託研究を行っています。

《 研究課題 》

バイオコントロール技術を 応用した魚類餌料培養技術研究



シオミズツボワムシ

種苗生産における生物餌料
の抗菌剤に換わる減菌対策と
して，珪藻の他感作用を利用
した技術を開発します。

《 研究課題 》

海水流動モデルを用いた かき採苗技術研究

広島湾の海水流動モ
デルから，安定的なか
き天然採苗に必要な親
貝群の配置場所と数を
明らかにします。



かきの稚貝

《 研究課題 》

かき出荷安全技術開発

(保健環境センターと共同研究)



実験に使用する貝毒原因ブランクトンの大量培養

二枚貝の貝毒の蓄積
状況を明らかにすると
ともに，減毒過程を調
査して出荷方法の検討
を行います。

《 研究課題 》

天然遡上アユ回復研究

受精卵を放流して，その流下状況及び経路を解明し，
天然アユの遡上回復を目指します。



《 研究課題 》

地付き魚の

種苗生産技術開発研究

魚価が高く定着性も高いと
して漁業者から放流要望の強
いキジハタ・カサゴの種苗生
産技術を開発します。



《 研究課題 》

一粒かき養殖定着化技術開発

広島かきブランド化を支援するため一粒かきの安定生
産技術開発，およびかきの味覚成分に関する解析を行い
美味しいかき作りの技術開発を目指します。



一粒かき養殖法で生産した「かき小町」

《 研究課題 》

江田島湾における かき養殖適正化技術開発

かき養殖の環境への影響をモデルにより推定し、適正な漁場使用方法等を検討します。



江田島湾内のかき漁場

《 事前研究 》

オニオコゼの 放流技術開発事前研究

オニオコゼの放流技術開発研究のための基礎情報を収集します。

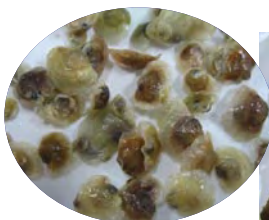


オニオコゼ放流用種苗 (約 30mm)

《 事前研究 》

フランスがき類による 広島かき新ブランドの拡充

フランスがき類を利用した広島かきの新商品開発及びブランド化への可能性を検討します。



コケゴロモ稚貝と
商品サイズのコケゴロモ



《 事業課題 》

水産資源回復対策 総合対策推進事業



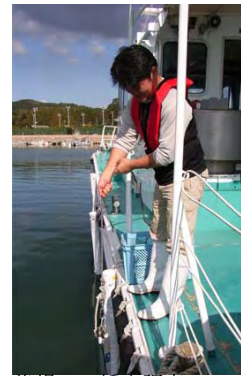
資源調査対象のヒラメ

主要魚種の資源動向を把握して総合的な資源評価を実施し、漁業者に情報を提供するとともに、資源回復計画の策定及び実施を支援します。

《 事業課題 》

漁場環境総合監視事業

定期観測による海域の環境調査や有害赤潮プランクトンの出現状況・影響調査を行い、被害の軽減・防止に努めます。

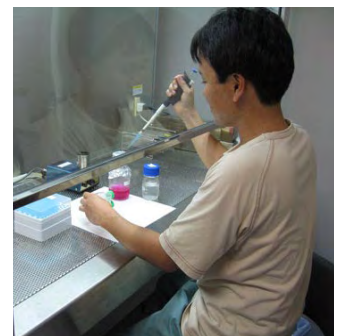


漁場での採水調査

《 事業課題 》

コイ疾病 まん延防止対策事業

コイヘルペス病 (KHV) 等の検査体制の整備と防疫体制の確立を推進します。



魚病診断

《 事業課題 》

水産養殖振興対策事業



ワクチン注射研修会

魚類防疫体制の整備と指導を行うとともに、水産用医薬品の適正使用の指導を行って、養殖経営の安定を図ります。